



2015.8.20

日本テレビ「NEWS ZERO」にて、  
JA串間市大束の若手農家グループ“芋ザイル”が紹介されました。



## 「芋ザイル」結成！誇れる地元の味のため、攻めのPRを

夜の人気ニュース番組「NEWS ZERO」のワンコーナー、ZEROが旬な人に光を当てる「ZERO human」にて、宮崎県串間市のJA串間市大束の若手農家6人で結成された「芋ザイル」をご紹介いただきました。日に焼けた肌、おそろいのTシャツにサングラスという出で立ちで、ダンスと歌を披露しながら地元の特産物とともに農業のイメージ向上を目指すグループです。芋ザイルは2012年から活動をスタート。県内の特産展やステージイベントに年10回ほど出演するほどの人気を誇っています。「地元の味をみんなに知ってほしい」「農家のかっこよさを知ってもらいたい」という熱い想いを胸に日々活動を続けています。実は全国各地にも「農家版EXILE」が存在しています。山形の「ねぎザイル」、鳥取の「D's planning大山農園」など、若手農家のパワフルな姿勢は日本の農業に活力を与えています。



## 地元のオリジナルサツマイモ「ヤマダイカンショ」を全国へ



宮崎県串間市は「ヤマダイカンショ」の西日本有数の一大産地として名を馳せる地。昭和41年に栽培をはじめ、幾多の危機を克服しながら成長を遂げてきたこの特産物を、全国に広める活動も芋ザイルはしています。南国の澄み切った空の下で栽培したヤマダイカンショは、ミネラルたっぷりの健康食品。さらっとした食感と、上品な甘さが特長です。自分たちが丹精込めて育てた作物をみなさんに力強くPRしています。

## 近い将来、宇宙の主食にもなる！？カンショのパワー

「カンショ(甘藷)」は宇宙に滞在するようになった際、宇宙ステーション内で栽培できる作物として注目されています。その理由は、葉も茎も食べられ、栄養のバランスが良く、土がなくても栽培(水耕)ができ、調理しやすく、飽きがこないからです。米国のタスキギ大学では米航空宇宙局NASAの委託を受けて、宇宙環境に適した新しいカンショの品種改良が進められています。